

まきの木

偕行会リハビリテーション病院 透析センター通信



寒さが増し、インフルエンザが流行る季節となりました。

インフルエンザは咳やくしゃみ等でウイルスが飛ばされ、そのウイルスが鼻や口、目などの粘膜に付着することで感染します。

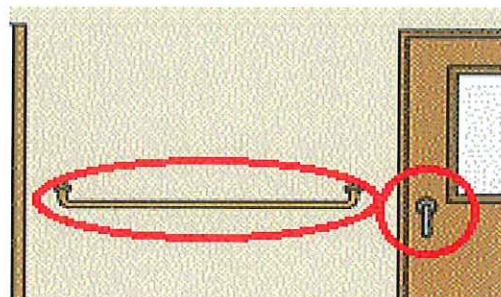
1回の咳で10万個のウイルスが3mほど飛びます。バスや廊下の手すり、ドアの持ち手等たくさんの人が触れる場所はウイルスが付着している可能性がとても高いです。

そのような場所を触った手で食事をするのはもちろん、鼻を触ったり目を擦ったりするだけでも感染の可能性は高まります。

予防にはワクチンの接種はもちろんのこと、日頃の手洗い・うがいがとても有効です。また、ウイルスは顔についている場合もあるので洗顔も併せて行うと、さらに効果が上がります。



バスの手すり



廊下の手すり・ドアの持ち手



咳・くしゃみの症状が出た時はマスクを着用しましょう。また、インフルエンザウイルスにはアルコールが有効です。お店や病院の入口にアルコール消毒が置いてあるのはその為です。

インフルエンザの予防に心掛けましょう。

インフルエンザの予防をしましょう！

